



刊行のことば

わたくしどもベネッセ教育研究所は、1980年に設立されて以来、子どもたちのよりよい生活、および学習環境のあり方を追究することを目的として、教育の様々な側面に焦点をあてて調査研究を行って参りました。その成果を、小・中・高校生を対象とした調査報告書「モノグラフ」をはじめとする発刊物などを通して、子どもの教育に関わる方々へ幅広くお届けしております。

さて、最近では教育改革の動きを受けて、新しい学校や教師のあり方をめぐる議論が活発になってきております。ベネッセ教育研究所ではこれまでの活動に加え、「21世紀の子どもの学びや教師のあり方を考える」をテーマとして、学校教育に有益な理論的かつ実践的な情報の提供や教育実践の諸課題にお役に立てるような研究活動に、企業に所属する民間の教育研究所ならではの視点を活かして取り組んで参りたいと考えております。

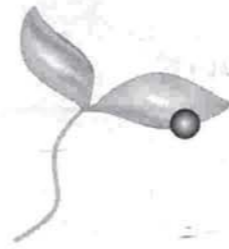
その取り組みのひとつとして、学級集団における人間関係、特にコミュニケーションスキルをテーマに研究を進めて参りました。本研究では、注目を集めつつある「アサーショントレーニング」という分野を中心に、心理学的な研究としてだけでなく、学校における実践をふまえた上でその意義や効果について明らかにしようと試みました。

本報告書は、実際の授業を記録した「実践編」と、その実践を研究者の視点から分析した「研究編」に分かれています。実際の授業展開やその中での子どもの生き生きとした反応やその実践がもつ意義について、少しでもお伝えすることができればと思います。この報告書が学校の先生方にとって、こうした分野の理論や方法論に興味を持つきっかけとなれば幸いです。

なお、今回の研究を進めるにあたってご協力いただいた方々、特に1年間の授業観察を快くお受けくださった西小松川小学校の先生方、いつも笑顔で迎えてくれた3年3組のみなさん、分析に関わってくくださった研究者の方々、そしてこの冊子を手にしてくださった読者の皆様方に、厚くお礼申し上げます。

2001年6月

ベネッセ教育研究所
代表 島内行夫
研究担当 山田 剛



もくじ

はじめに～研究の背景・目的ならびに報告書の活かし方について 2

Part 1 <実践編>

- 実践の概要/学習プログラムの指導計画 10
- 実践事例 ① キングとクイーンの「マジックチェア」 14
- 実践事例 ② 「三つの話し方」を考えよう 18
- 実践事例 ③ 「三つの話し方」のうちのどの話し方ですか? 22
- 実践事例 ④ さわやかさんでいってみよう 26
- 実践事例 ⑤ よく聞くための方法 30
- 実践事例 ⑥ 自分ってどんな人? 34
- 実践事例 ⑦ 友だちにほめ言葉をプレゼントしよう 37
- 実践者の声、子どもの声 40

Part 2 <研究編>

- 研究レポート①
「学級集団の成長」という視点から 園田雅代 45
- 研究レポート②
「個々の子どもの成長」という視点から 中釜洋子 56